

隣接学校希望入学制度に関するアンケートの実施結果

【アンケートの実施について】

1 目的

区教育委員会における入学の指定については、通学区域の指定校を基本とした上で、保護者の意向への配慮と学校選択の機会の確保、また、学校生活の充実と魅力ある開かれた学校づくりの一層の推進を目指して、指定校に隣接する学校へ入学を希望できる隣接学校希望入学制度を実施している。制度の対象は、区立小学校、及び中学校の第1学年に入学する児童・生徒とし、平成15年度入学から中学校を開始し、17年度入学から小学校を開始したところである。

ここ数年申込み率は一定している状況であるが、制度の開始後約10年という期間が経過したこと、他校への希望の集中などにより一部の学校が小規模化している事例もあること、及び地域から学校の地域性等に関する課題の提起を受けていることなどから、制度目的の達成状況等の調査・検証を行うこととし、その基礎資料とするためにアンケート調査を実施した。

2 調査期間

平成26年6月23日(月)～7月18日(金)

3 調査対象

区立小学校 第1学年の保護者・第2、3学年の保護者
第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）
区立中学校 第1学年の保護者・第2学年の保護者
第3学年の保護者（PTA委員のみ）
地域関係者 住区住民会議代表及び青少年部会代表、町会長、自治会長、青少年委員、
学校評議員
区立小・中学校教職員

4 調査項目

- (1) 学校の活性化・多様化の状況について
 - ・学校行事への参加、学校との関わり
 - ・特色ある学校づくり
- (2) 制度の影響について
 - ・制度導入による影響
 - ・地域活動への参加状況及び影響
 - ・指導面への影響
- (3) 学校選択の理由等
- (4) 隣接制度への意見

5 回答者数等

回答者数 5,462人（対象者数 7,461人） 回答率：73.1%

調査対象			対象者数	回答者数	回答率
小学校	1、2、3学年	保護者	4,269	3,349	78.4%
	4、5、6学年	保護者（PTA委員のみ）	704	442	62.8%
中学校	1、2学年	保護者	1,842	1,243	67.0%
	3学年	保護者（PTA委員のみ）	192	116	60.4%
地域関係者			326	202	62.0%
教職員			128	110	85.9%
合計			7,461	5,462	73.1%

【保護者、地域関係者の回答内容等について】

1 小学校

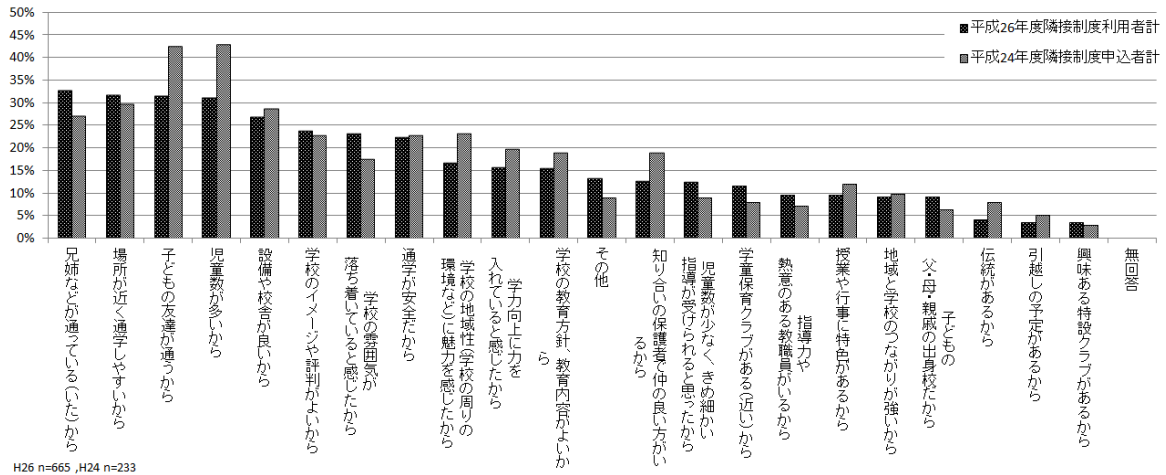
(1) 選択の状況について

① 【隣接制度利用者】現在の学校への入学理由（複数回答可）

【質問：現在の学校に入学することにした理由は何ですか。】

対象；<平成26年度>区立小学校第1、2、3学年の保護者
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）
<平成23年度>区立小学校平成24年度入学隣接学校希望入学制度申込者

結果；「兄弟などが通っている（いた）から」（665人中217人・33%）が最も多く、次は「場所が近く通学しやすいから」（211人・32%）となっている。
平成23年度は、「児童数が多いから」（233人中100人・43%）が最も多く、次は「子どもの友だちが通うから」（99人・42%）となっている。



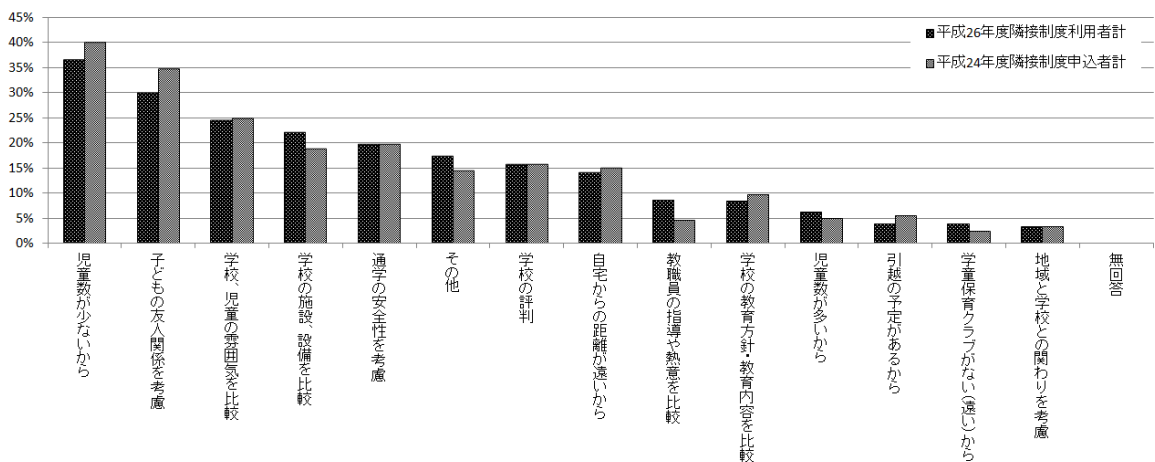
H26 n=665 ,H24 n=233

② 【隣接制度利用者】指定校を選ばなかった理由（複数回答可）

【質問：お住まいの学区の学校（指定校）を選ばなかった理由は何ですか。】

対象；<平成26年度>区立小学校第1、2、3学年の保護者
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）
<平成23年度>区立小学校平成24年度入学隣接学校希望入学制度申込者

結果；「児童数が少ないから」（639人中234人・37%）が最も多く、次は「子どもの友人関係を考慮」（192人・30%）となっている。
平成23年度は、同じく「児童数が少ないから」（233人中93人・40%）が最も多く、次は「子どもの友人関係を考慮」（81人・35%）となっている。



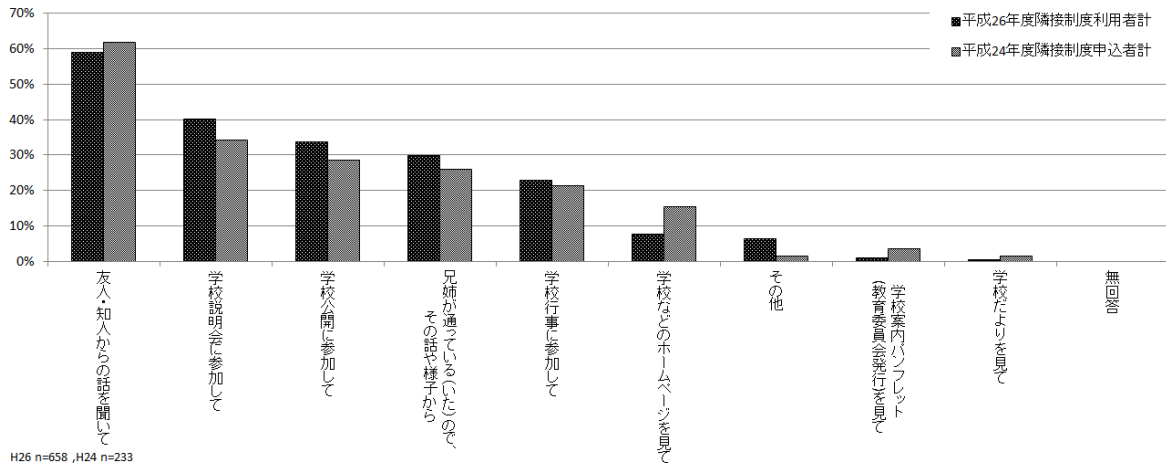
H26 n=639 ,H24 n=233

③ 【隣接制度利用者】学校を決める際に役立った情報（複数回答可）

【質問：学校を決める際にどの情報が役に立ちましたか。】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者
 区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）
 ＜平成23年度＞平成24年度入学隣接小学校希望入学制度申込者

結果； 「友人・知人からの話を聞いて」（658人中389人・59％）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（265人・40％）となっている。なお、「学校のホームページを見て」（52人・8％）は、若干低い結果となっている。
 平成23年度は、同じく「友人・知人からの話を聞いて」（233人中144人・62％）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（80人・34％）となっている。

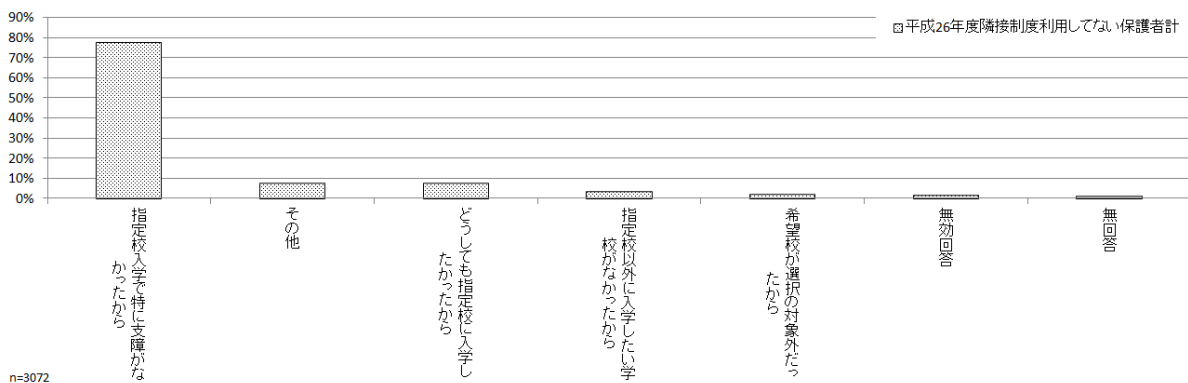


④ 【指定校入学者】隣接制度を利用しない理由

【質問：利用しなかったのはなぜですか？】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者
 区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

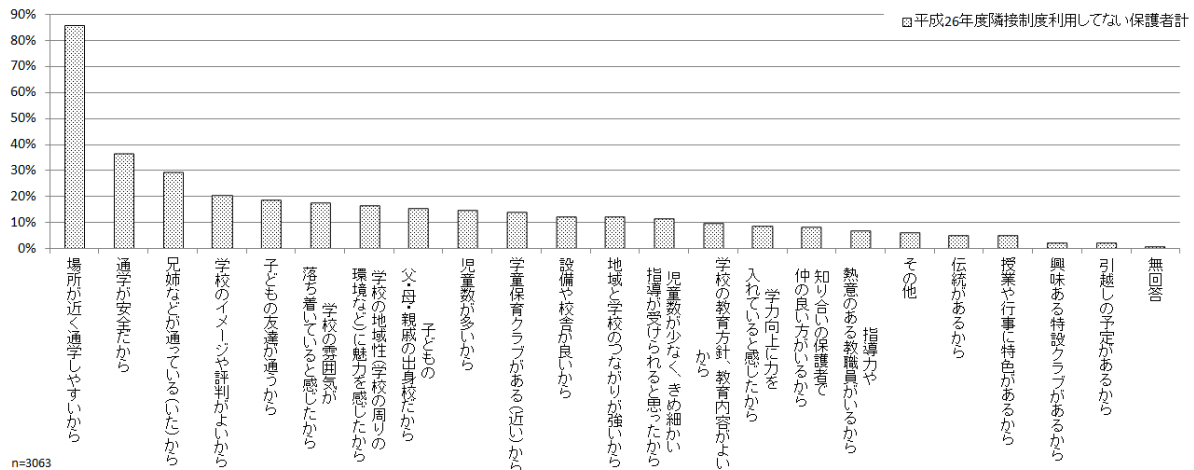
結果； 指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「指定校入学で特に支障がなかったから」（3,072人中2,382人・78％）が、最も多くなっている。



⑤ 【指定校入学者】現在の学校への入学理由（複数回答可）
【質問：現在の学校に入学することにした理由は何ですか。】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

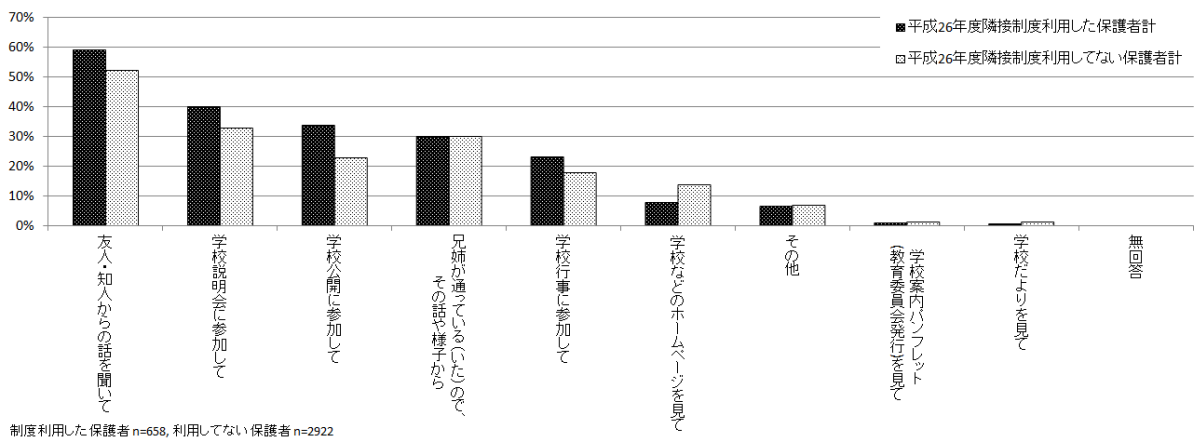
結果； 指定校入学の（隣接制度を利用してない）保護者は、「場所が近く通学しやすいから」（3,063人中2,625人・86%）が最も多く、次は「通学が安全だから」（1,109人・36%）となっている。



⑥ 【隣接制度利用者及び指定校入学者】学校を決める際に役立った情報（複数回答可）
【質問：学校を決める際にどの情報が役に立ちましたか。】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

結果； 隣接制度を利用した保護者は、「友人・知人からの話を聞いて」（658人中389人・59%）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（265人・40%）となっている。
指定校入学の（隣接制度を利用してない）保護者は、同じく「友人・知人からの話を聞いて」（2,922人中1,528人・52%）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（959人・33%）となっている。



(2) 通学の安全について

① 通学時間

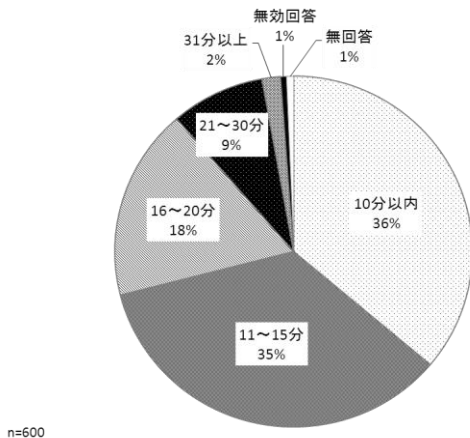
【質問：お子様の通学時間は、どのくらいですか。】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

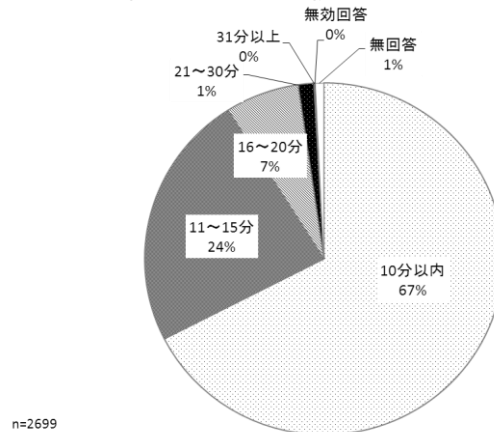
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「10分以内」（600人中217人・36％）が最も多く、次は「11分～15分」（209人・35％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、同じく「10分以内」（2,699人中1,821人・67％）が最も多く、次は「11分～15分」（636人・24％）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



② 通学上の不安

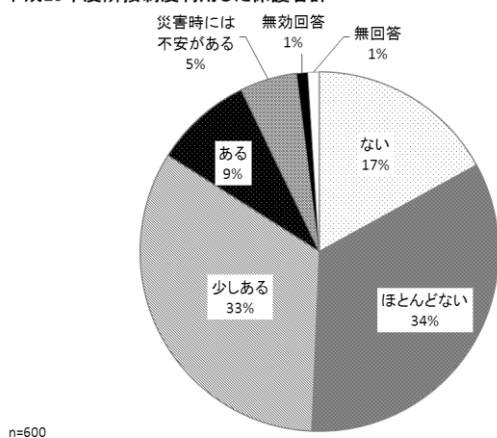
【質問：隣接制度の導入の課題として、通学上の安全があがっていますが、お子様の通学について不安はありますか。】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

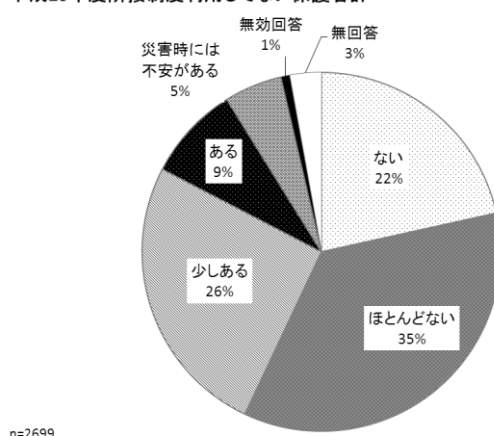
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「ほとんどない」（600人中202人・34％）が最も多く、次は「少しある」（200人・33％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、同じく「ほとんどない」（2,699人中958人・35％）が最も多く、次は「少しある」（691人・26％）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



(3) 学校行事等への参加状況について

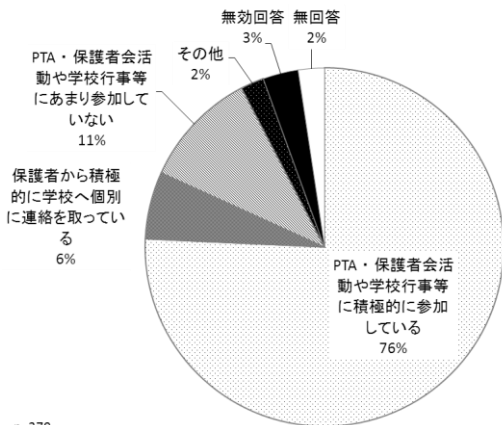
【質問：お子様が入学した学校について、保護者としてどのようなかわりをしていますか。】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第2、3学年の保護者

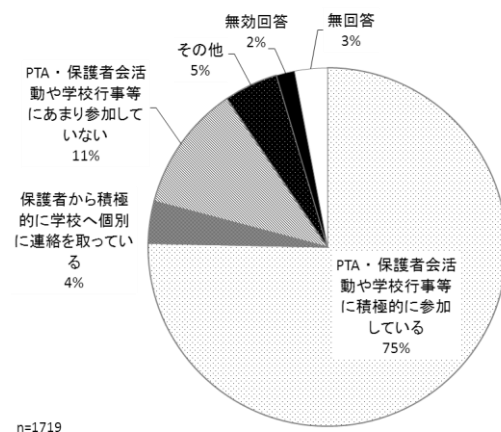
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「PTA・保護者会活動や学校行事に積極的に参加している」（379人中287人・76％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（40人・11％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、同じく「PTA・保護者会活動や学校行事に積極的に参加している」（1,719人中1,295人・75％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（196人・11％）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



(4) 学校の特色、魅力づくりの状況について

【質問：隣接制度導入は、「児童、生徒、保護者及び学校職員等の教育活動や学校運営に対する意識をより高め、学校教育の活性化と多様化を促し、学校の特色・魅力づくりを推進する」ことを目的としていますが、あなたの学校では、学校の特色・魅力づくりが今まで以上に進んでいると思いますか。】

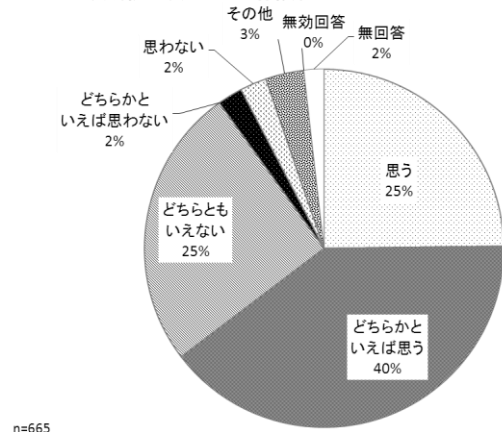
対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ），

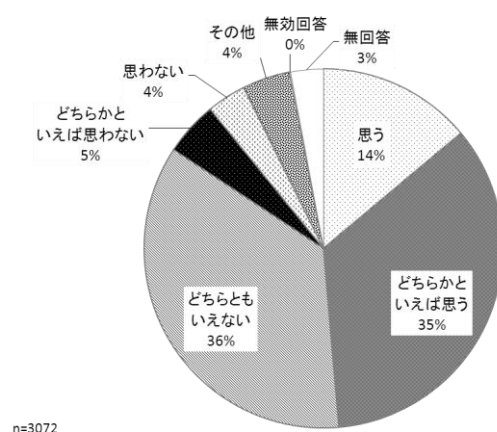
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「どちらかといえば思う」（665人中430人・65％）が最も多く、次は「どちらともいえない」（169人・25％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「どちらともいえない」（3,072人中1,095人・36％）が最も多く、次は「どちらかといえば思う」（1,067人・35％）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



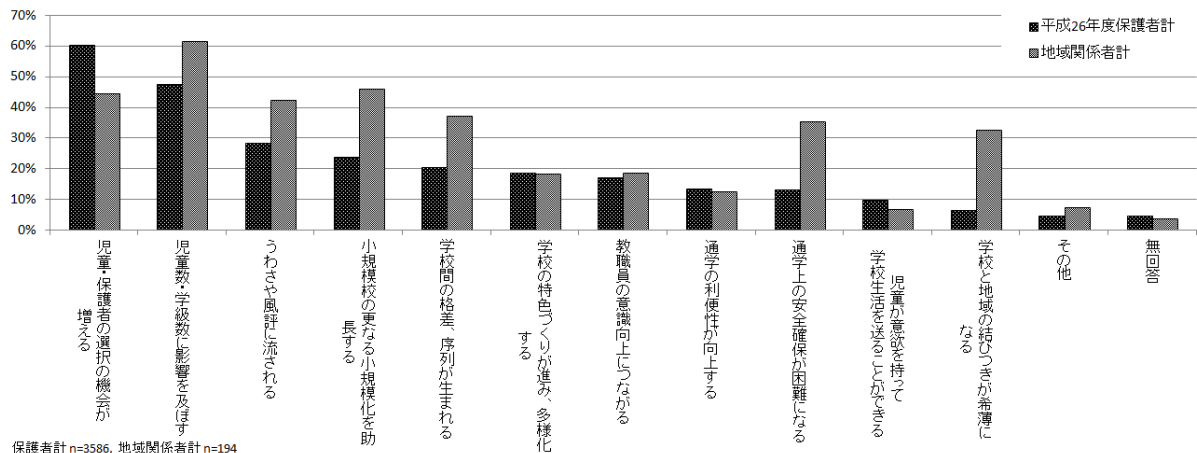
(5) 隣接制度導入による全般的な影響について（複数回答可）

【質問：お子様の学校では、隣接制度の導入により、どのような影響がある（あった）と思いますか。】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）、
地域関係者

結果； 保護者は「児童・保護者の選択の機会が増える」（3,586人中2,160人・60%）が最も多く、次は「児童数・学級数に影響を及ぼす」（1,693人・47%）となっている。

地域関係者は「児童数・学級数に影響を及ぼす」（194人中119人・61%）が最も多く、次は「児童・保護者の選択の機会が増える」（86人・44%）となっている。



(6) 保護者の意識変化について

① PTA活動等への影響

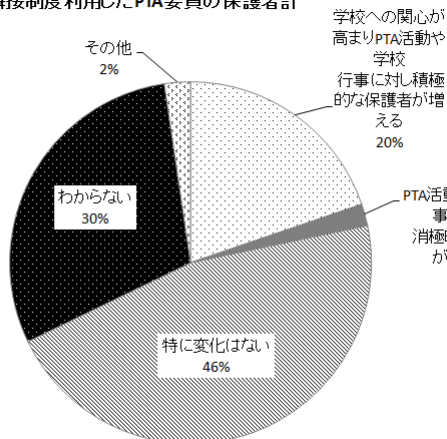
【質問：PTA委員の方のみお答えください。あなたの学校では、隣接制度の導入によりPTA活動等への影響がある（あった）と思いますか。】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者（PTA委員のみ）、
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

結果； 隣接制度を利用したPTA委員は、「特に変化はない」（258人中119人・46%）が最も多く、次は「わからない」（77人・30%）となっている。

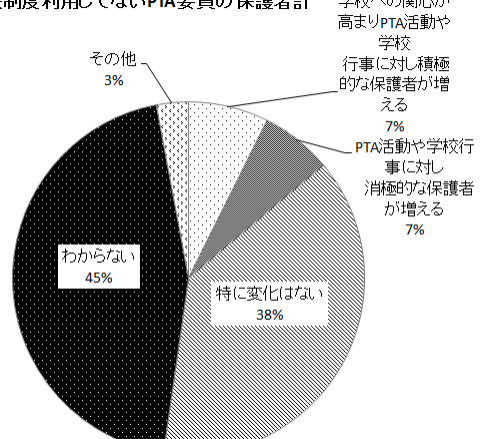
指定校入学の（隣接制度を利用していない）PTA委員は、「わからない」（1,291人中578人・45%）が最も多く、次は「特に変化はない」（495人・38%）となっている。

平成26年度隣接制度利用したPTA委員の保護者計



制度利用したPTA委員 n=258(無効回答・無回答407人を除く)

平成26年度隣接制度利用していないPTA委員の保護者計



制度利用していないPTA委員 n=1291(無効回答・無回答1781人を除く)

(7) 地域行事への参加度について

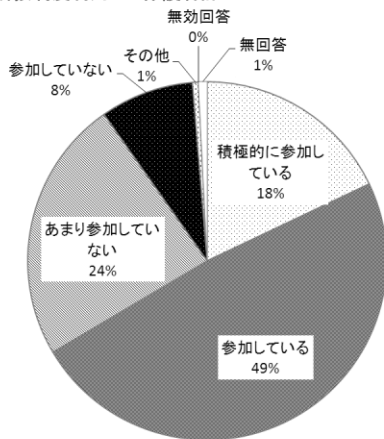
【質問：お子様は、通学している学校の通学区域内での地域（住区、町会・自治会、商店街等）の行事に参加していますか？】

対象；＜平成26年度＞区立小学校第2、3学年の保護者

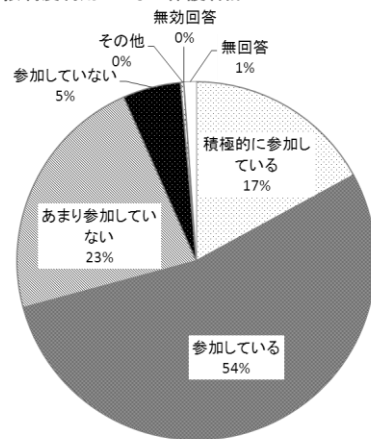
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「参加している」（379人中184人・49％）が最も多く、次は「あまり参加していない」（90人・24％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、同じく「参加している」（1,719人中924人・54％）が最も多く、次は「あまり参加していない」（338人・23％）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



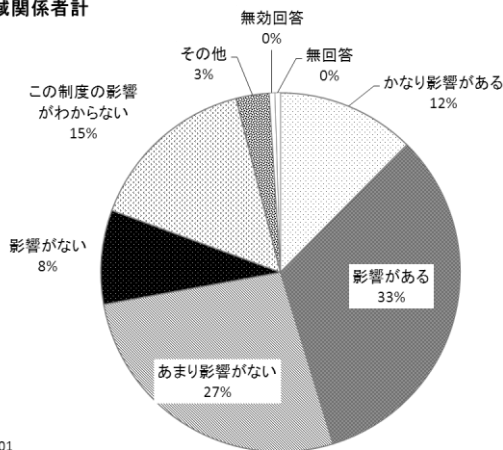
(8) 地域行事の参加率への影響について

【質問：あなたの地域では、この制度により地域行事の参加率に影響がある（あった）と思いますか。】

対象；地域関係者

結果； 「影響がある」（201人中66人・33％）が最も多く、次は「あまり影響がない」（54人・27％）となっている。

地域関係者計



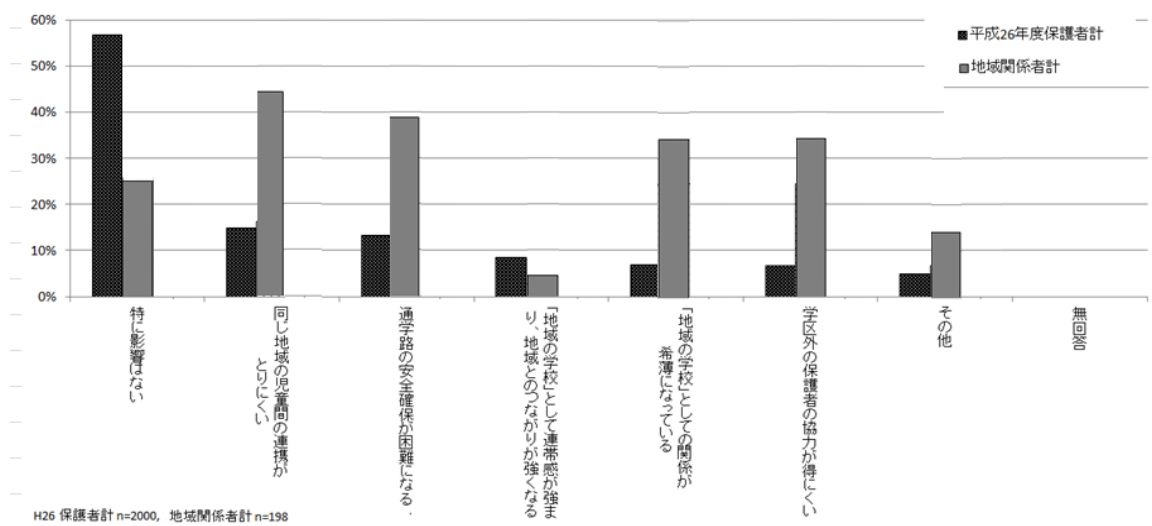
(9) 地域とのつながりへの影響について（複数回答可）

【質問：お子様の学校では、隣接制度の導入により、地域（地域住民、住区、町会・自治会等）とのつながりにどのような影響がある（あった）と思いますか】

対象； <平成26年度>区立小学校第2、3学年児童の保護者，
区立小学校第4、5、6学年児童の保護者（PTA委員のみ），
地域関係者

結果； 保護者は、「特に影響はない」（2,000人中1,138人・57％）が最も多く、次は「同じ地域の児童間の連携がとりにくい」（299人・15％）となっている。

地域関係者は「同じ地域の児童間の連携がとりにくい」（198人中88人・44％）が最も多く、次は「通学路の安全確保が困難になる」（77人・39％）となっている。



(10) 隣接制度のあり方について

【質問：今後の目黒区の隣接制度について、あなたのご意見を伺います。】

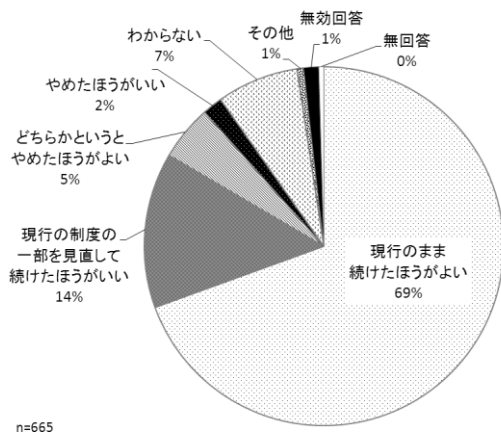
対象；＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者，
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ），
地域関係者

結果； 隣接制度を利用した保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（665人中462人・69％）が最も多く、次は「現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい」（93人・14％）となっている。

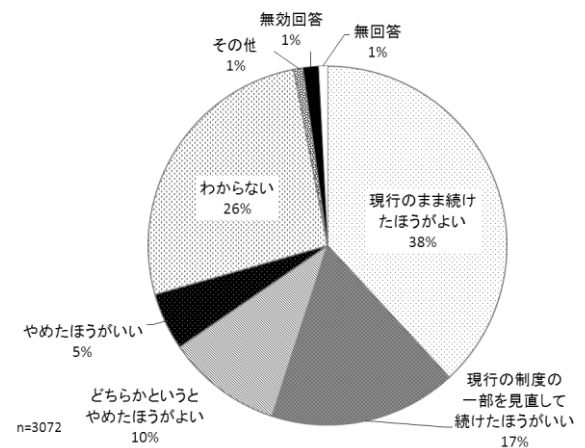
指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（3,072人中1,171人・38％）が最も多く、次は「わからない」（810人・26％）となっている。

地域関係者は、「現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい」（201人中53人・26％）が最も多く、次は「どちらかというをやめたほうがよい」（47人・23％）となっている。

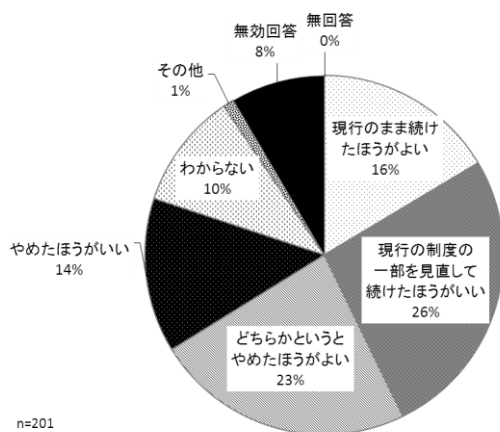
平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



地域関係者計



主な自由意見について

【小学校保護者の自由意見】総件数；708件

	主な自由意見（要旨）	同様意見 件数
1	学校の特色、魅力づくりによって中身の良い学校であっても、校舎の新しい学校や、人数の多い学校の人気が強くと、一部のうわさ、少人数等のマイナスの要因の方が大きなものとなり、小規模校が敬遠されるため、小規模化がさらに小規模化を助長する。	93
2	狭い範囲に小学校が何校かあるので、地域や通学には問題はないと思う。選択できることは重要であり、各学校の活性化につながると思う。	44
3	自由に選べるという事だが、校の特色を知って選ぶというよりは、うわさや風評が多いように思う。通ってみればどちらも似たような感じなのに、入学前の保護者にとっては、児童数が多い＝活気がある、受験率が高いらしいなどといった事により、決めた人が多かったかと思う。これでは少ない児童数の小学校は敬遠され、ずっと少ないままと思う。	31
4	近隣の小学校では、1学年1クラスで児童数の少ないところがある一方、隣接校を希望しても入学できない人気の小学校もあり、同じ区立小学校なのに格差があるようでおかしいと思う。	18
5	同じ区内なのに学校内の校庭、施設など学校施設に差がありすぎる。	18
6	子どもの個性にあったより適切な環境を選べるということは子どものためになると思うので、選択肢があることはよいと思う。	15
7	特に小学校においては、児童の通学上の安全が優先されるべきで、通学の安全性以外の理由で学校を選ぶ事に違和感を感じる。	15
8	“特色を推進する”という記述があるが、どの学校に進学しても同じ水準の教育、指導、課外活動を受けられることが重要だと思う。	14
9	この制度が第1学年に入学する児童のみなのが理解できない。入時もみとめるべきかと。	14
10	その年によって受け入れが可能な学校、可能でない学校があるのは、事情があるにしても、少し不公平感があるように思う。	11
11	隣接する小学校は、各々の住所から遠すぎる場合もあり、一年生の足では負担や安全の欠如などあるかもしれないが、個々の小学校の雰囲気や教育方針に合った学校を選べるのは、6年間という長い学校生活を送る上でとてもよいと思う。ただ、人気があり入れない等の不具合は改善されるとよいと思う。	10